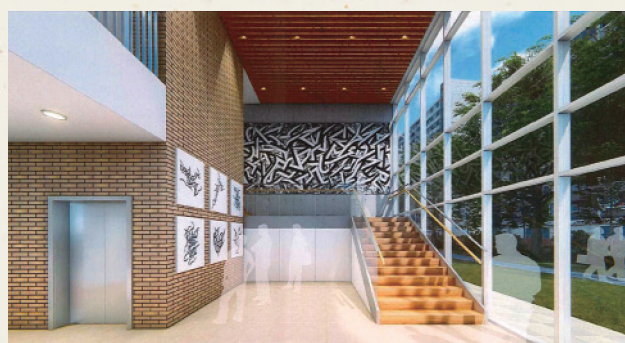


慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

2022  vol.42

見えてきたぞ!志木高多目的棟(仮称)建設計画



目次

開設75年事業

事業内容説明と寄付方法のご案内

イベント参加募集&実施報告寄稿

- ・枇杷の会、歩こう会よりお知らせ
- ・ホームカミングデー
- ・同期会&OB会だより
- ・ゴルフ親睦会 ほか

母校の「今」がわかります

- ・体育部会、文化部会 NOW/ クラブ戦績
- ・志木高・志木会行事日程 ほか

収支報告、役員・幹事・クラブ幹事一覧

第8回志木会大会概要

会長ご挨拶



慶應志木会会長

坂上 隆彦

謹啓

慶應志木会会員の皆様、コロナ禍の長いトンネルの先、やっと一筋の光が見え出した昨今、夫々のお立場の中、変化に対応されお過ごしのことと存じます。

慶應志木会もその様な中、やっと活動を再開しつつあります。先日6月2日(木)3年ぶりに三田キャンパス、生協食堂に於いて幹事総会を開催、各期及び各クラブ幹事の皆様を中心に、高橋校長、新たに就任された森岡主事、募金委員会よりは伊藤会長、医志会戸山会長、逢沢衆議院議員と48名に及ぶ多彩なメンバーにご参集頂きました。やはり、リアルな face to face の議論は良いもの、皆さん楽しまれあうと言う間の2時間が経過致しました。

さて、総会の中でも紹介しましたが今年からは従来のイベント再開の方針で準備して参ります。先ずは第9回志木マスタースを9月12日に武蔵CC 豊岡コースにて開催、10月16日の連合三田会はハイブリット開催ですがリアルの方には志木高テントの開設、更に29/30日の収穫祭にはホームカミングデイを、本年はご招待が遅れていた分、2年分(20/21期、45/46期)合わせてのご案内となります。

令和5年3月24日の本年度卒業式にも卒業40周年ご招待として2年分(30/31期)の会員の皆様にご案内の予定であります。これからはコロナ分取り返すために追いつくまでは2年間分のご招待方式で行う予定です。会員各位におかれましては、どうぞ奮ってご参加の程お願い申し上げます。

志木高の方では、昨年はコロナ対策も徹底しクラスターの発生による学級閉鎖、学校閉鎖も無く、埼玉県内の諸学校の中でも感染者率は大変低い方であったと、又、慶應義塾一貫校の中でも感染者数は低い方であり困難なコロナ禍の中でもなんとか恙無く運営ができた様です。結果、新たな卒業生243名が慶應志木会の新メンバーとして入会となりました。無論卒業生の中、特に功績の認められた団体、個人の諸君に対しては従来同様志木会賞の授与を行っております。今年からの志木高は収穫祭のみならず、クラスマッチや志木演説会、研修旅行等全てのプログラムが再開されるようでご同慶の至りです。

役員人事について1件ご報告、従来慶應志木会活動にご尽力頂きました中村幹事長より体調不良の為辞任申出があり、今般の幹事総会にて新たに35期、宇野宏君に幹事長をお願いし了承され、事務局長には37期田内久晴君に就任頂きました。慶應志木会も徐々に若返りを図り益々活発に活動していく所存であります。

又、昨年よりお願いしております「慶應志木高開設75年事業」への慶應志木会募金活動についてです。昨年募金委員会が発足され、伊藤委員長就任頂いて以来活動して参りましたが、現在募金目標額2億9千万円に対し、約30%達成の状況下にあります。この活動は、本年、来年とまだまだ続きます。是非会員各位の更なるご賛意、ご厚情をお願いし残りの70%(約2億円)の達成を目指して行きたいと思っております。

最後に、会員各位の益々のご健勝、ご活躍を祈念し、又慶應志木会活動への更なるご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げ本年の挨拶とさせていただきます。

謹白

名誉会長ご挨拶



慶應義塾志木高等学校校長
慶應志木会名誉会長

高橋 美樹

志木会の皆様には、日頃より、奨学金、国際交流、志木会賞、さらには「慶應義塾志木高等学校 開設 75 年事業」へのご協力等、様々な形で本校をご支援いただき、ありがとうございます。慶應義塾志木高等学校を代表して、御礼申し上げます。

開設 75 年事業は、昨年（2021 年）4 月 1 日から募金活動が可能になりました（5 月 21 日には、ZOOM を用いたキックオフを開催していただきました）。繰り返しになりますが、募金活動に当たっては、坂上隆彦・志木会会長（23 期）、伊藤雅俊・募金委員会委員長（16 期）、森田榮一・募金委員会事務局長（23 期）をはじめとして、志木会の皆さまに多大なご協力をいただいています。改めて、心より御礼申し上げます。

皆さまご存知のとおり、昨年 5 月 28 日からは、伊藤公平・新塾長のもと 10 人の常任理事も大きく変わりました。新しくなった慶應義塾でも、開設 75 年事業は粛々と進めています。

10 人の常任理事には、施設・管理を主管とする、志木高出身の岡田英史・常任理事（32 期）も含まれます。本年（2022 年）2 月 15 日には、「志木高等学校 多目的棟（仮称）建設計画 提案競技審査会」が開催され、岡田理事の司会進行のもと、7 社の提案から第一優先業者が決定されました。現在は、細部を調整しているところです。

その一方、民間企業から登用された財務・募金担当の常任理事は、慶應義塾の財務体質強化の方針を打ち出していて、開設 75 年事業の先行きを楽観視することはできません。志木高に先行して行われた、慶應義塾高等学校の開設 70 年事業（2014 年 10 月～2017 年 9 月末）では、募金目標額が未達に終わった結果、事業規模を相当縮小することになったと聞きます。ましてや現在の、新型コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻に起因する資材価格高騰が続く状況では、募金目標額（2024 年 3 月末までに 2 億 9000 万円）が未達に終わることは絶対に避けなければなりません（ちなみに、途中経過は、2022 年 3 月末で 7576 万 6000 円です）。

昨年の『会報』でも紹介させていただいたとおり、現在、慶應義塾志木高等学校では、「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」をすすめるべく、冒頭に紹介した国際交流、「少人数・適正規模教育」など、志木高にふさわしい教育プログラムの開発・実践に取り組んでいます。開設 75 年事業は、教育プログラムの一環であり、単なる祝賀事業ではありません。志木会の皆様には、このような趣旨をご理解の上、開設 75 年事業に関わる資金につきまして、広くご協力賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

伊藤公平塾長のリーダーシップの下、慶應義塾は「キャンパスライフの復活」「コロナとの共生」に舵を切りました。慶應義塾志木高等学校も、着実に歩みを進めています。

本年 3 月 24 日（木）、山内慶太・常任理事ご臨席のもと、生徒と保護者 1 名（昨年は生徒のみ）の参加で行われた第 72 回卒業式では 243 名の生徒が巣立ちました。今年も卒後 40 年の皆様には出席いただけませんでしたが、慶應志木会賞については、代わりに 3 団体・3 名の表彰をご報告させていただきました。また、4 月 6 日（水）には、伊藤公平塾長ご臨席のもと、やはり、生徒と保護者 1 名参加で入学式が行われ、239 名の新入生（74 期生）を迎えました。未来の志木会会員の成長を暖かく見守っていただければ幸いです。

最後になりましたが、皆様のご健勝と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

志木高開設75年



2021 年 5 月からはじまった開設 75 年事業募金について、経過報告とともにあらためてご案内をします。

多目的棟の概要

開設 75 年事業の中核となる、多目的棟の概要・イメージが具体化してきました。まだ決定ではありませんが、第一候補案のバース・配置図・平面図をお知らせします。当初の教室構成や多目的ホールを確保しつつ、2 階建てに変更され、工期とコストを抑えるようなプランになっています。2022 年 12 月着工で 2023 年 12 月完工が可能とされています。



外廊下・広場イメージ



ホワイエ 兼 展示ホールイメージ



多目的ホールイメージ

諸室リスト・面積表

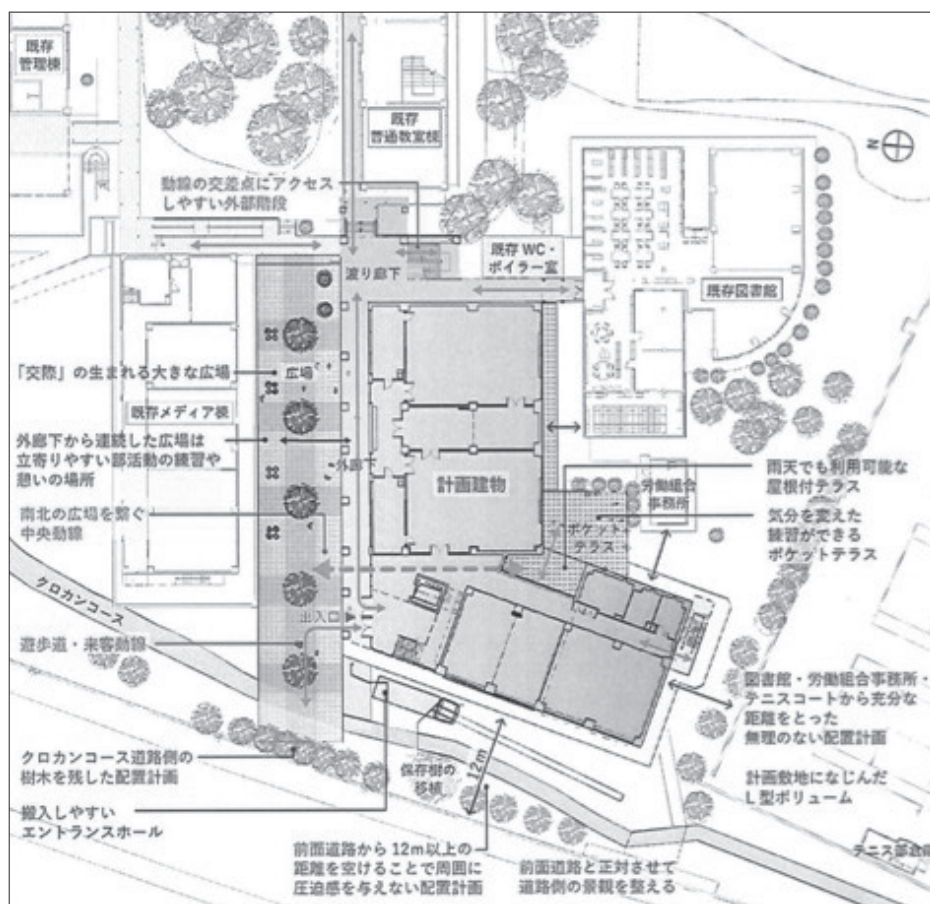
施工延べ床面積2,589.14㎡（法的延べ床面積1,863.25㎡）

階	室名	面積	階	室名	面積	階	室名	面積
1階	音楽室1	141.79㎡	1階	中教室1	100.34㎡	2階	中教室2	100.34㎡
	音楽室2	141.79㎡		和室	97.20㎡		中教室3	97.20㎡
	音楽室楽器庫1	29.45㎡		ノード室	12.30㎡		ホワイエ兼展示ホール	148.75㎡
	音楽室楽器庫2	29.45㎡		エントランスホール兼展示ホール	157.71㎡		男子トイレ2	21.94㎡
	音楽室準備室1	26.77㎡		男子トイレ1	22.14㎡		女子トイレ	20.70㎡
	音楽室準備室2	26.77㎡		多目的トイレ	11.27㎡	PH階	空調機械室	60.72㎡
	前室	39.55㎡	2階	多目的ホール(倉庫含)	367.01㎡		電気室	46.29㎡



事業について

配置図



1 階平面図



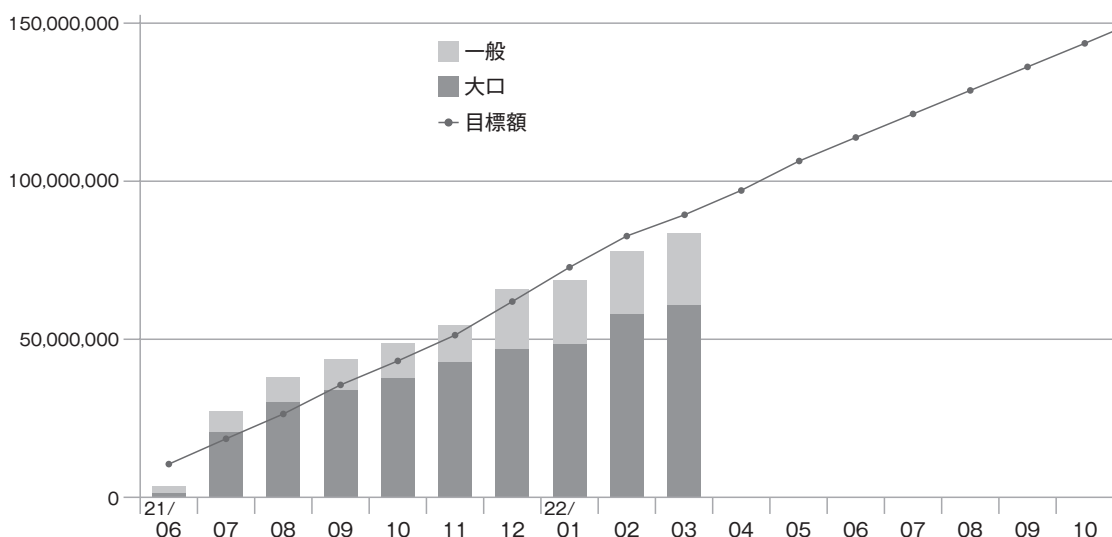
2 階平面図



志木高開設75年

募金実績報告

2022年3月までの募金実績と今後の対応を報告します。
2024年3月までに募金目標額2億9千万円を均等配分した目標ラインを表現したグラフで見てくださいと、12月までは順調にきましたが、2022年1月～3月は勢いがなくなり、目標を下回りました。人数は626名で、まだまだ浸透していないと思います。大口が伸びなくなり金額の増加ペースも落ちています。



- ①寄付人数 3,000 名を目指していますが、まだまだ拡がりがありません。
各学年で出来る範囲でお声掛けを継続いただくのが有効と考えております。
学年幹事の皆様のご尽力、何卒よろしくお願い申し上げます。
- ②大口寄付については募金委員会が個別に勧誘していきます。
法人寄付を増やすべく、オーナー企業への働きかけを行います。
- ③団体にも働きかけます。銘板に名を刻もうという事で、各クラブ、各学年単位での 30 万円以上の寄付をお願いしていきます。団体からの寄付については、クレジットでの募金は出来ませんので、志木高事務局まで、まずご連絡ください。郵便振替用紙を郵送します。基金室所定のリストを提出すれば寄付金控除を個別に受けることも可能です。

事業について

■ 2022.3.31 時点 期別募金実績一覧

寄付人数合計 626 名 募金金額合計 ¥75,766,000 進捗率 26.1%

(内大口寄付者 80 名 / ¥57,420,000 / 構成比 75.8%)

期	人数	寄付金額	期	人数	寄付金額	期	人数	寄付金額
1期	4	1,130,000	26期	7	190,000	51期	1	30,000
2期	2	310,000	27期	10	620,000	52期	2	510,000
3期	1	100,000	28期	18	725,000	53期	1	300,000
4期	12	370,000	29期	13	455,000	54期	4	80,000
5期	4	120,000	30期	12	551,000	55期	0	0
6期	3	135,000	31期	7	1,100,000	56期	2	330,000
7期	3	410,000	32期	6	1,630,000	57期	1	30,000
8期	8	570,000	33期	9	2,170,000	58期	0	0
9期	5	1,350,000	34期	17	820,000	59期	0	0
10期	5	5,100,000	35期	23	1,660,000	60期	7	480,000
11期	11	675,000	36期	12	1,660,000	61期	3	70,000
12期	18	850,000	37期	18	1,130,000	62期	0	0
13期	17	1,020,000	38期	9	610,000	63期	1	30,000
14期	10	1,780,000	39期	2	60,000	64期	3	160,000
15期	21	1,080,000	40期	5	170,000	65期	0	0
16期	10	1,270,000	41期	5	390,000	66期	1	10,000
17期	22	1,350,000	42期	5	605,000	67期	2	40,000
18期	14	1,160,000	43期	7	750,000	68期	2	330,000
19期	14	1,940,000	44期	4	110,000	69期	0	0
20期	16	2,795,000	45期	11	650,000	70期	2	60,000
21期	58	1,710,000	46期	5	880,000	71期	1	30,000
22期	8	500,000	47期	0	0	72期	0	0
23期	33	15,980,000	48期	0	0	73期	0	0
24期	17	1,905,000	49期	1	300,000	74期	0	0
25期	18	1,340,000	50期	2	80,000	法人	4	7,000,000
						団体（同期以外）	0	0
						教職員・保護者他	47	4,010,000

志木高開設75年

慶應義塾志木高等学校開設75年事業募金のご案内

■募金概要

- 募金名称 慶應義塾志木高等学校開設 75 年事業募金
- 募金目的 慶應義塾志木高等学校開設 75 年事業資金として
- 募金目標額 2 億 9 千万円 学内募金として
- 募金期間 2021 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
- 募金対象 個人、法人、団体（有志団体等）
- 一口 1 万円、できましたら三口以上のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■お申し込みについて

- 個人としてお申込みいただく場合

クレジットカード（インターネット募金）

慶應義塾志木高等学校開設 75 年事業ウェブサイト（<http://75th.shiki.keio.ac.jp/>）から申込み、クレジットカードでお支払いいただけます。海外からのご寄付もできます。

ゆうちょ銀行（郵便局）

慶應義塾所定の「振込用紙（兼申込書）」をお使いのうえ、郵便局の窓口または ATM でお振込みください。振込用紙は 6 月会報に同封しますが、必要に応じて志木高窓口にご請求いただければ郵送いたします。なお、他の銀行からの振込には対応しておりません。

- 法人・団体としてお申込みいただく場合

個人の取り扱いと異なりますので、お手数をおかけしますが、慶應義塾基金室までご連絡ください。個別にお話を伺い、ご案内をお送りします。

■ご芳名の発表

ご寄付を賜りました方々のご芳名は、ご希望により慶應義塾の機関誌である「三田評論」に金額とともに掲載させていただきます。

なお、1,000 円以上の寄付者にはご芳名が掲載された「三田評論」を郵送させていただきます。

■ご寄付者の顕彰

慶應義塾志木高等学校開設 75 年事業への寄付の累計が 30 万円以上の個人・法人・団体は、そのご厚志への感謝のしるしとして、新多目的棟内に顕彰銘板を作成し、ご芳名を掲げさせていただきます。また、新多目的棟記念式典にご招待いたします。累計 3 万円以上のご寄付を賜った方には、記念品を郵送させていただきます。

■寄付金に対する免税措置について（2021 年 4 月現在）

税務署に確定申告することで寄付金控除をお受けいただくことができます。個人は暦年、法人は事業年度ごとの控除となりますので、募金期間 3 年の各年に適用することができます。

- 個人の場合（例：東京都港区在住 課税所得金額が 500 万円の場合）

例 30,000 円寄付	①所得税	②住民税	=14,000 円 の減税
	$(30,000 - 2,000) \times 40\% = 11,200 \text{ 円}$	$(30,000 - 2,000) \times 10\% = 2,800 \text{ 円}$	

事業について

①所得税の寄付金控除

<税額控除を選択した場合>

(年間の寄付金合計額^{※1} - 2,000 円) × 40% = 寄付金控除額^{※2} → 所得税額から控除

※1 年間の寄付金合計額が、年間総所得金額等の 40% を超える場合、40%に相当する額が限度額となります。

※2 寄付金控除額は、所得税額の 25% が限度となります。

<所得控除を選択した場合>

年間総所得額の 40% を限度として、その年の寄付金の合計額から 2 千円を引いた金額が、その年の所得から控除されます。

②個人住民税の寄付金税額控除 (東京都・神奈川県・埼玉県・山形県・大阪市にお住まいの方)

(寄付金額^{※3} - 2,000 円) × 控除率^{※4} = 住民税の控除額

※3 年間総所得金額等の 30% が限度額となります。

※4 控除率は、最大 10% となります。

○法人の場合

「受配者指定寄付金制度」により寄付金全額が損金に算入できます。

または、「特定公益増進法人に対する寄付金制度」により一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入できます。

○相続財産について

相続された財産を相続税申告期限内（ご逝去された翌日から 10 か月以内）に慶應義塾に寄付し、税務署に申告することにより、そのご寄付は相続税の課税額から除外され、非課税になります。なお、文部科学省の「相続税非課税対象法人の証明書」が必要で、発行するのに約 2 ヶ月を要しますので、お早めに基金室までご相談ください。

寄付金控除の詳細は、基金室 Web サイト <https://kikin.keio.ac.jp/menzei.html> をご覧ください。

ご連絡・お問い合わせ先

■事業・募金について

慶應義塾志木高等学校 開設 75 年事業担当

〒353-0004 埼玉県志木市本町 4 - 14 - 1

TEL 048-471-1361 (平日 9:00 ~ 16:30) / FAX 048-471-1974

E-mail shiki-soumu@adst.keio.ac.jp

志木高等学校 Web サイト <https://www.shiki.keio.ac.jp>

趣意書については、開設 75 年事業ウェブサイト (<http://75th.shiki.keio.ac.jp/>) をご確認ください。

■法人・団体の申し込み、免税措置について

慶應義塾基金室

〒108-8345 東京都港区三田 2 - 15 - 45

TEL 03-5427-1717 (平日 9:00 ~ 17:00) / FAX 03-5427-1546

E-mail kikin-box@adst.keio.ac.jp

【志木高・志木会行事日程】

	慶應志木会		志木高等学校
	R4年度予定	R3年度実績	R4年度予定
4月			4/6 入学式（10：00） 4/7 ガイダンス 4/21 健康診断
5月	5/29 枇杷の会*2 (大磯海岸鳴立庵周辺)	5/21 幹事総会、75周年キックオフ会 (ZOOM開催)	5/10～12 1年生研修日帰り旅行 5/28 早慶戦
6月	6/2 幹事総会 6/2 5高JKカップ 会報発行	6/27 枇杷の会*2（通信にて） 会報発行	6/20～24 第1回定期試験 6/27～29 クラスマッチ
7月			7/14 第132回志木演説会 7/17～ 夏季休業
8月			
9月	9/12 第9回志木マスタース ：武蔵カントリークラブ豊岡コース 9/17 校内自然観察会*1	9/14 志木会ゴルフ懇親会 ：桜ヶ丘カントリークラブ	～9/4 夏季休業 9/27～30 3年生見学旅行 9/27～30 2年生研修旅行 9/27～28 1年生救命講習
10月	10/1 歩こう会 (見沼たんぼを訪ねて) 10/16 連合三田会大会 10/29、30 ホームカミングデー 収穫祭：志木高 (20期&45期)&(21期&46期) 10/30 枇杷の会*2 (目黒・自然教育園)	10/17 連合三田会大会（オンライン） 10/23 5高JKカップ 10/30、31 ホームカミングデー ——— 収穫祭：志木高 ——— (20期&45期)&(21期&46期) ——— コロナのため開催中止	10/13 運動会 10/29～30 収穫祭
11月		11/28 枇杷の会*2 (大磯海岸鳴立庵周辺)	11/3 学校説明会 11/21～26 第2回定期試験 11/29～12/1 クラスマッチ
12月			12/7 マラソン大会 12/9 第133回志木演説会 12/18～ 冬季休業
1月			～1/10 冬季休業 1/12～16 3年生第3回定期試験 自己推薦入試
2月	幹事新年会	2/24 幹事新年食事も	一般・帰国生入試 2/16～20 1,2年生第3回定期試験
3月	3/24 卒業式 卒業40周年招待（30期&31期）	3/24 卒業式 ——— 卒業40周年招待（30&31期） ——— コロナのため招待中止	3/24 卒業式（10：00）

*1：志木高校内自然観察会は宮橋教諭（理科）を中心に開催されます（卒業生参加可）

*2：枇杷の会は本井英元教諭（国語）のご指導のもとに開催されます

★R4年度の行事予定は、コロナウイルス感染拡大の影響により、変更または中止になる可能性があります。
都度、ホームページ等でご確認下さい。

志木会会費制度の変更について

前号にて周知の通り、平成 30 年度より、会費制度を変更いたしました。

従来、「5 年で 1 万円」(年 2,000 円換算)としてまいりました。しかしながら、会費納入率(平成 29 年度実績)は、全卒業生約 15,000 人の約 18%と低く、会費徴収低迷により、志木会活動が決して楽な状況ではありませんでした。将来に向けて志木会の財政を安定させ、継続的に志木高を支援する盤石な体制づくり、さらには OB の繋がりを充実させるため、学校側と話し合いを重ね、次のように変更しております。

【新制度について】68 期より

- ① 卒業時に卒業生全員より「終身会費」として 30,000 円/人を納付いただく。
- ② OB の従来の会費制度を基本、廃止する。

●但し、合計 3 万円を未納の 58 期～67 期までの OB は、3 万円迄の残額を徴収する。

皆様のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

慶應志木会奨学基金について

志木高生が、家庭の経済状況の悪化により、勉学を継続できなくなる実状を学校から伺い、基準を設け、学校側で該当する学生を選抜いただき支援する体制を構築。「慶應志木会奨学基金」制度として発足しました。これにより、平成 21 年度秋より毎年数名への給費(令和 3 年度までに合計 36 名)が実現できました。皆さまの奨学基金へのご協力を心より感謝しております。

現在、基金額で運用益を確保し、その後も皆様からのご協力をいただいております。長期にわたり給費の安定的な継続と給費対象者・給付費額の拡大を図るために、志木会では、寄付金の募集を継続します。引き続き、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお当基金へのご寄付は、慶應義塾への用途指定寄付金として税制上の優遇措置(寄付金控除)を受けることができます。下記事務局にお問い合わせいただき、所定の申込書にてお手続きをお願いいたします。後日、慶應義塾より領収書並びに所得税・法人税の寄付控除証明書が送付されます。

【募 金 要 綱】

募 金 単 位 1 口 1 万円

払い込み方法 詳細は、慶應志木会事務局にお問い合わせいただき申込書を依頼ください。

TEL : 048-471-1959 Mail : info@keio-shikikai.jp

志木高教職員の動向

教 員

退職▶専任 山田 達之輔 君(理科)、中地 譲治 君(国語科)

専任(有期) バトリー エドワード 君(外国語科/英語) 非常勤講師 12名

新任▶専任 前北 馨 君(国語科) *中等部より異動

善林 啓 君(数学科) *女子高より異動

古川 創一 君(理科)

専任(有期) 村田 文 君(外国語科/英語)

アルヴァート アルバレス 君(外国語/英語) 非常勤講師 11名

職 員

退職▶事務員2名、嘱託職員2名、委託職員2名

新任▶事務員2名、嘱託職員1名、委託職員2名

派遣(理科助手)1名、派遣(図書館)1名

計 報

萩原 司 君(元理科教諭)

謹んでご冥福をお祈りいたします

『慶應志木会賞』について

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定し、本年度で16回目を迎えました。

令和3年度は、3団体と3名の生徒を表彰いたしました。

1. 水泳部（2名）

推薦者：水泳部部长 樋口 裕輔 教諭（6年連続受賞）
2021年度 関東高等学校水泳競技大会 出場
200m自由形、400mメドレーリレー、
400mリレー、800mリレー

2. 競走部（7名）

推薦者：競走部副部长 大瀧 学 教諭
第72回全国高等学校駅伝競走大会埼玉県大会
第10位 2時間17分03秒（志木高校歴代新記録）

3. 端艇部（6名）

推薦者 端艇部部长 中地 譲治 教諭（10年連続受賞）
端艇部副部长 池田 卓也 教諭
令和3年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会
兼 第69回全日本高等学校選手権競漕大会
男子舵手付きクォドルプル種目(1,000m)
埼玉県代表して出場 準々決勝進出

4. 松本 大智 君

推薦者：岡田 吉央 教諭
U-22 プログラミング・コンテスト2021 プロダクト部門
経済産業省商務情報政策局長賞・
豆蔵 K2TOP ホールディングス賞

5. 町田 瑞生 君

推薦者：大垣内 暖人 教諭
第4回山頭火ふるさと館自由律俳句大会 一般の部
最優秀賞（第1位に相当）
「汗の染み込んだ襷を受けとる」

6. 石田 隆翔 君

推薦者：大垣内 暖人 教諭
第2回短歌研究ジュニア賞 高校生の部
選者賞（佐藤弓生賞・第4位に相当）
「この街に新たな風習根付きたりたがいに
口を見せてはならぬ」
第4回山頭火ふるさと館自由律俳句大会 一般の部
佳作（第4位に相当）
「人の群れ避けて靴ひも結ぶ私」

以上

體育部會NOW／第22回

スキー部 部長 岡田吉央

令和4（2022）年4月18日現在、志木高スキー部には、3年生1名、2年生1名、1年生3名の生徒が在籍しています。部員数は常に少なく小規模ですが、皆で力をあわせて、インターハイ出場を目指して日々努力しています。

スキーには、アルペン、クロスカントリー、ジャンプなど様々な競技が存在しますが、志木高スキー部は、アルペン競技（棒＜ポール＞と棒＜ポール＞の間を通して、いかに早くゴールにたどり着けるかを競う競技）に特化して活動しています。大会が開催される時期や、雪上で行える練習の期間が約3か月と限られているため、現役部員は、どうすれば持てる力を最大限に発揮できるか常に模索しています。

10月に行われる塾内サッカー大会や、12月に行われる合同練習、そして3月に行われるOB戦や塾内スキー部対抗戦等により志木高スキー部OBや、大学、塾高、SFCのスキー部との深いつながりが志木高スキー部には存在しています。その為、部員たちは、埼玉から遠く離れたところで行われる関東大会や、国体、全日本レベルの大会などで精神的に助けられることも多く大変ありがたいことだと感じています。

新型コロナウイルスの影響により依然として例年通り行われない大会が存在していますが、部員一同、今後も今まで通り大会で持てる力を発揮できるよう活動を続けていきたいと思っております。

文化部会NOW／第22回

美術部 部長 山田季孝

ここ数年の部員数減少傾向は否めませんが、それでも部員は部としての誇りを持って真剣に作品と向き合って日々制作に励んでいます。ここで美術部の変遷を少し振り返ってみたいと思います。三十数年の記憶をたどるので曖昧な部分もありますがご容赦下さい。新任だった私が水野先生から譲られる形で引き継いだ美術部員は、個性的で多彩な顔ぶれだったと記憶しています。日々の活動は、部としてまとまって何か制作するというよりそれぞれが自由に好きなことをやっていたと思います。そうこうするうちに、文化部の統廃合などもあり、一喜一憂する美術部の存在も危うく、活動もいつしか途絶えてしまいました。

そんな状況を経た数年後、美術を愛する熱い思いの生徒が数名集まり、山内先生指導の下、同好会からの再出発を果たしたのです。不自由ながらも同行会として精一杯活動し、数年後ついに部へと昇格し今日に至っています。相も変わらず部員は情熱的で個性派揃いです。その頃の活動は週数回、生徒の自主性を重んじつつも厳しい指導の下、石膏デッサンを描いたり、アクリル画を描いたりと美大受験さながらの刺激的な内容のものでした。長期休暇中には合宿をして縦・横数メートルもの巨大絵画を仕上げ、今現在も十数点が保管されています。

現在も週数回の制作は勿論、毎年収穫祭での展示も少人数ながらしっかりと継承しています。人数は少なくとも美術部は熱気で満ち溢れています。

クラブ戦績

クラブ	戦績
体育部会	
硬式 野球部	2021年度選手権大会2回戦対草加東8-0（7回コールド）3回戦対川口市立8-4 4回戦対星野7-9／新人大大会 1回戦対志木5-6／秋季地区予選1回戦 対浦和麗明5-7／2022年度春季地区予選 1回戦対浦和東11-6 代表決定戦対立教新座4-1／春季県大会1回戦対南稜10-0（6回コールド）2回戦対大宮東1-10（7回コールド）
競走部	学校総体西部地区予選1500m決勝島田5位、大津10位 5000m島田3位、大津6位／新人戦西部地区予選800m決勝吉田3位、市村4位 1500m決勝市村5位 3000mSC新井10位／全国高校駅伝埼玉県予選会10位／奥多摩溪谷駅伝競走大会Aチーム4位、Bチーム6位
卓球部	R3.9全日本ジュニア埼玉県予選大会シングルス出場／R3.9西部地区秋季大会団体戦・シングルス出場／R3.12埼玉県ジュニア卓球選手権大会シングルス出場／R4.1埼玉県ジュニア卓球選手権大会ダブルス出場／R4.1新人大大会埼玉県西部地区予選会団体戦・シングルス・ダブルス出場／R4.4関東大会兼全国高校総体埼玉県西部地区予選会団体戦・シングルス・ダブルス出場
庭球部	新人大大会西部地区1次シングルス、2次シングルス、1次ダブルス出場／埼玉県新人大大会男子シングルス出場／埼玉1年生大会団体決勝 対県立浦和高校1-2／埼玉新人大大会団体 対越谷南高校3-2、対昌平高校0-3
ラグビー部	関東高校ラグビー大会埼玉予選 対合同B85-7、対松山高校62-12、対川越東高校24-36／国体県予選 対川越高校113-0、対大宮高校69-12、伊奈学園47-0、熊谷高校19-15／埼玉県予選 対川口高校96-0、対大宮高校棄権
端艇部	戸田レガッタ 4X+A（吉澤・峯岸・服部・瀧澤・小林）3位／関東高等学校ボート大会1X（澤路）準決勝進出・2X（中村・嶋沼）予選敗退・4X+（吉澤・峯岸・服部・瀧澤・小林）準決勝進出／インターハイ県予選2XA（中村・嶋沼）2位・4X+A（吉澤・峯岸・服部・瀧澤・小林）優勝／北信越インターハイ4X+（吉澤・峯岸・服部・瀧澤・小林）準々決勝進出／県新人戦2X（衛藤・井上）6位・4X+（鈴木・澤路・瀧澤・加藤将・梅岡）5位／お花見レガッタ高校の部 1X（衛藤）3位・2X（澤路・渡辺）3位
バレー ボール部	埼玉県高等学校バレーボール西部支部春季大会1回戦対狭山経済2-0、2回戦対川越東0-2／全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会西部地区予選会対城西川越1-2
ホッケー部	インターハイ一次予選 対飯能南0-17、二次予選 対飯能南0-14、対聖望学園2-1／選抜ホッケー大会予選対聖望学園3-0、対飯能南1-16
サッカー部	関東大会県予選 1回戦敗退／総体西部支部予選 代表決定戦敗退／選手権1次予選 決勝トーナメント進出、決勝トーナメント 1回戦敗退／U-18西部1部リーグ4位
バスケット ボール部	関東高等学校バスケットボール大会埼玉県予選ベスト16／学校総合体育大会埼玉県予選ベスト16／ウィンターカップ西部支部予選 県大会出場決定／全国高校バスケットボール選手権大会埼玉県予選ベスト8／バスケットボール新人大大会西部支部予選ベスト8

クラブ	戦績
弓術部	関東個人予選高柳入賞／埼玉選手権兼全国選抜埼玉予選Aチーム荒木・西村・立花3位入賞／埼玉県西部支部大会男子団体Dチーム立花・濱岡・西村優勝、Aチーム荒木・高柳・渡辺2位、男子個人高柳優勝、西村2位／県西部支部大会出場／関東大会県予選Aチーム2次予選進出ならず、Bチーム本選進出ならず／インターハイ県予選 本選進出ならず
ゴルフ部	関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会埼玉県予選団体8位、個人三上67位／冬季大会埼玉県予選個人 立石47位、三上57位
剣道部	関東予選支部大会個人 <県大会出場権獲得者>齋田ベスト16、菊地 <出場者>宮井、武居／関東予選県個人 齋田2回戦対勝馬（熊谷）判定負け、菊地2回戦対花塚（埼玉栄）判定負け／関東予選県団体 2回戦対鶴ヶ島清風2(3)-1(2)、3回戦対伊那学園0(0)-1(1)／第12回早慶対抗試合 本校9(15)-1(2) 早大本庄 通算10勝2敗 優秀選手齋田、田中／選抜予選県新人大大会 1回戦対熊谷西4(6)-1(2) 2回戦対本庄第一（優勝校）0(0)-3(4)
スキー部	インターハイ予選GS吉澤11位 齋藤27位 上柳37位、SL吉澤9位 齋藤DF 上柳DF／国体予選 齋藤30位 上柳36位／新人戦GS齋藤13位 上柳31位、SL齋藤23位 上柳DF
ソフト テニス部	埼玉県選手権大会 木宮・石塚4回戦進出／西部支部高等学校ソフトテニス大会男子Ⅱ部 五十嵐・竹内ベスト8、中村・大岡、木宮・大滝ベスト16／埼玉県私立高等学校ソフトテニス大会男子個人戦の部 五十嵐・竹内3回戦進出
水泳部	埼玉県高等学校総合体育大会 学校総合6位、100mバタフライ齊藤3位、200mバタフライ齊藤5位、200m平泳ぎ亀井8位、200m自由形丸橋8位、400mメドレーリレーロマネス・南・齊藤・丸橋4位、400mリレー永瀬・齊藤・南・丸橋5位、800mリレー内田・齊藤・丸橋・永瀬6位／埼玉県高等学校水泳競技新人大大会 学校総合5位、100mバタフライ齊藤2位、200mバタフライ齊藤4位、50m自由形永瀬6位、100m自由形永瀬3位、200m平泳ぎ亀井6位、200m自由形井上8位
軟式 野球部	春秋埼玉大会 対二校連合15-4、対正智深谷高校3-6／軟式野球選手権埼玉大会 対伊奈学園高校2-9／新人戦 対伊奈学園高校4-1、花咲徳栄高校0-12
空手部	関東大会埼玉県予選 個人組手3回戦進出、個人形準決勝進出、団体組手1回戦対秀明栄光0-5／全国高校総体埼玉県予選 個人組手初戦敗退／埼玉県新人大大会 個人形準決勝進出、個人組手2回戦敗退、団体組手1回戦対秀明栄光0-5
文化部会	
器楽部	第62回埼玉県吹奏楽コンクール県大会「高等学校Bの部（30人編成）」金賞受賞／第27回西関東吹奏楽コンクール「高等学校Bの部（30人編成）」金賞受賞
ワグネル・ ソサエティー 男声合唱団	第64回埼玉県合唱連盟コンクール 彩の国の部 金賞（OBとの合同出演）

SNSが注目される昨今、俳句は元祖ソーシャル芸術、 「枇杷の会」で同窓会の輪を広げませんか!

芭蕉や蕪村の時代から俳句は仲間になる遊びでした。今も俳句が同窓仲間の仲良しになる媒体になっています。枇杷の会では都内、あるいは郊外の一度は行って見たかった自然環境に恵まれた公園、寺社などに集合し思い思いに句を詠みます、句会の後は軽く一杯を楽しみながら友人の消息や昔話などを語り合い、世代を超えた仲間作りが出来ます。

志木高に入って本当に良かったと思える絶好の機会です。



今年度は次のように予定しています。

志木会会員各位の参加をお待ちしています。又、ご家族ご友人の参加も大歓迎です。

- ・令和4年 5月29日(日) 初夏の大磯海岸と西行法師縁の鷗立庵周辺を実施
- ・令和4年10月30日(日) 晩秋の目黒・自然教育園を予定

詳細はメールマガジンで告知します、参加の申し込みは志木会事務局まで。

過去2年間、コロナを避けて通信句会で我慢しましたが、今回(令和4/5/29)は久しぶりに大磯鷗立庵で対面句会を実施出来ました。志木会の9期から69期の同窓会員が交歓しました。その時の句の一部をご紹介します。

- | | | | |
|---------------------|----|-------------------|-----|
| ・ 青鳩の旋回したり潮干岩 | 英 | ・ 湘南発祥の地の石板が灼けてゐる | 洋太 |
| ・ 俳諧の泉は永遠に初夏の庵 | 章良 | ・ 薔薇園の息苦しさの中に居る | 次郎 |
| ・ 緑陰に碑(いしぶみ)ことの矜持かな | 夏樹 | ・ 卯月波箱根連山乳ふたつ | かおる |
| ・ 夏吟行遠足のごと大磯へ | 伸次 | ・ 元勳も愛でし大磯バラの園 | 善兵衛 |
| ・ 勤め上げ五十余年の更衣 | 恭輔 | ・ 銀輪に竿のせ駆ける夏小道 | 知広 |
| ・ 良き日和得て薔薇の館人迎ふ | 孝治 | ・ 枇杷の実や鷗立庵の川の淵 | 一舟 |

平成14年6月に志木高で旗揚げしてから、今回の鷗立庵句会で53回目になります。第1回句会からこれまで丁寧にご指導頂いている、本井英元教諭に感謝です。これを機会に句会を覗いてみませんか。

今までの活動は志木会ウェブサイトに掲載しています。

<https://www.keio-shikikai.com>

枇杷の会幹事・深瀬啓司(15期)

2022年 志木歩こう会 懐かしい田舎の風景「見沼たんぼ」を訪ねて

恒例の「志木歩こう会」を今年度は下記の要領で実施いたします。

志木会会員各位の参加をお待ちしております。ご家族の参加も歓迎です。

「見沼たんぼ」は埼玉県さいたま市・川口市にまたがる広大な緑の空間で、

武蔵野の田んぼと畑・雑木林が織りなす田舎の風景を昔のままに見ることができる懐かしい田園地帯です。

広々とした緑の景観を秋の風に吹かれながら歩き、楽しんでみませんか。

開催日時：令和4年10月1日(土) 午前9時40分～午後2時頃
小雨決行

集合場所：JR武蔵野線東浦和駅 改札口 午前9時30分集合
※JRには「浦和」の名がつく同じような名前の駅があります
から間違えないように注意してください

参加申込：9月20日(火)までに志木会事務局宛てメールにて
(参加募集人数：20名程度先着順)

費用：昼食など約3,000円

幹事：12期 岡田幸次郎/案内人 12期 金井三喜雄

歩行距離約8.5キロ

東浦和駅⇒見沼用水路(西縁)⇒見沼通船堀⇒見沼用水路(東縁)⇒大崎公園⇒見沼ヘルシーロード⇒見沼自然公園(ゴール=この後近くの農家レストランで昼食)

★昼食後は近くのバス停から東浦和駅・浦和駅・大宮駅へ向かいます

※昼食後、希望者は+2*の見沼たんぼウォーク

同期会 & OB会 だより

第15期 —昭和40年卒—

「写真で読み解く世界の建設機械史」が出版されました。



慶應志木会会報2020 vol.40「70 歳過ぎても博士号取れます」と昨年6月の慶應志木会メールマガジン第206号 R.03 06/18号でご紹介させて頂いた、15期（亦楽会）の大川聡君が執筆した「写真で読み解く世界の建設機械史」が令和3年11月29日に三樹書房より出版されました。昨年5月の亦楽会有志のオンラインでの集まりでうかがったDr.大川の話は、テレビ番組の「世界ふしぎ発見」を観ているような古代ローマの水道工事に使われた建機から始まり、スエズ運河の蒸気式浚渫機械、最後はAIを使った巨大無人ダンプが出現する建設機械史と人類史を重ねた興味深いお話でしたが、出版された本にはさらに数百枚にも及ぶ世界中から集めた時代ごとの建機の写真と、写真に添えた建機的能力、二度の世界大戦を経た歴史的背景などの考察も加え、正に日本で初めての建機の歴史書と言える貴重な作品です。最後の資料編では建機関連の歴史的発明と、社会情勢などの年表と海外と日本の建設機械の発展をまとめたユニークな年表を見ることもできます。

土木・建設業界におられる方、あるいは建設機械に興味のある方だけでなく、未来を創る子どもたちへの贈る本として永久保存版になると思います。入手ご希望の方は大手書店あるいはAmazon、楽天などにて入手できます。

文責：15期亦楽会 E組倉田伸二

ホッケー部OB会

2021年度は新型コロナウイルスの影響で部活動が大幅に制限され、高校生にとってとてもつらい年でした。そのような中でも、活動が許可された練習や対外試合等の限られた時間や機会を有効に活用して、チーム力の維持・向上に励み、4月・5月のインターハイ県予選、10月の全国高校選抜大会県予選、1月の新人県大会に出場しました。いずれも上位大会への進出は叶わず敗退しましたが、ホッケーの試合ができること自体に喜びを感じた1年でした。今年度は通常の部活動に戻りつつありますので、新たな気持ちでチームづくりに励んでまいります。

ホッケー部監督・36期 神山健一

バスケットボール部OB会

バスケットボール部は、来年創部60周年を迎えます。その歴史の中で、かつて2度、埼玉県で準優勝の好成績を収めました。

最初の準優勝は、遡ること52年、1970年春季新人戦でした。その時の思い出を、柳澤辰也さん（1971年卒）が、我が部の年次報告に寄稿してくれました。

ここに、その一部をご紹介します。

半世紀前、今とはかなり環境が異なり、確か県で70チーム程度。当時一目置かれていたのは川口工業、川越工業、浦和工業などの公立ばかり。その後、遠方から優秀な生徒をスカウト出来る正智深谷などの私立高が出て来て上位校の顔触れは様変わりました。同じ準優勝でも、2012年度の準優勝とは比べられないかもしれません。

当時我がチームは2年生7名（荒幡、江川、小岩、小林、津村、西田、柳澤）、1年生3名（有賀、関口、山本）の計10名。

1回戦は省略。

2回戦の川口工業は二人のシューターとガッチリしたセンターがいて、川越工業と共に優勝候補筆頭。主力2名が荒幡君と同じ埼大附属中の県優勝チームメンバー。

我がチームは「遅攻とマンツーマン・ゾーン併用ディフェンス」の戦術。試合で活躍したのは荒幡君と江川君。178cmの荒幡君がディフェンスリバウンド8割、オフェンスリバウンドも3割確保し、全得点の半分以上を一人で稼ぎ出しました。江川君は、無尽蔵のスタミナで相手のポイントゲッターを見事抑えました。3回戦の立教に対する勝因は、津村君のロングシュートと、西田君、小岩君のハードディフェンス。津村君は、後半皆の足が止まった時にロングシュートを連続で決め、立教の追撃意欲を見事に切り捨てたのです。また、西田君と小岩君が立教のポイントガードを完璧に抑えきりました。

準決勝の春日部工業戦は、大変厳しい場面の連続。この試合は、我がチームに敗れた高校の指導者M氏が審判員として笛を吹き、我々がバイオレーションを連続で取られ、荒幡君のリバウンドは悉くファール。戦意喪失気味の中、小林君が江川君に代わって試合を繋ぎ何とか接戦に。有賀君の左45度からのジャンプシュートがブザービーターとなり、辛くも1点差の劇的勝利。

決勝の川越工業は、小川君(191cm)、久保田君(188cm)の2枚看板を擁しての3-2のゾーンディフェンス。荒幡君といえども10cm以上高い選手二人のゴール下には苦戦し、後半早々に5ファールで退場、20点差の大敗でした。

振り返ってみて、我がチームの準優勝は個人の好プレーだけでなく、たった一人の3年生、神谷先輩が全身全霊を掛けてチーム力を強めて下さったことと、江川先輩が期末試験直前にも拘らず、試合前1週間連日の戦術徹底と週末の全試合に指導者として同席して下さい下さったことの賜物です。

また、江川先輩は川越工業に敗れた後、母校を強くするためにと大学バスケットボール部の門を叩き、志木高初の体育会大学バスケットボール部員となり、後輩のための門戸を開きました。

年間を通しての良い結果は残せませんでした。志木高バスケットボール部60年の歴史の一翼を担えたことは大切な宝物です。

文責：41期 平賀 敦巳

* 慶應志木高校バスケットボール部創部60周年パーティご案内 *

野火止会会員の皆様

今年度なんと、慶應志木高校バスケットボール部は創部60周年、還暦を迎えました！

2022年12月3日(土)夕刻、東京プリンスにてパーティーを実施します。

会員の皆様、まずはTake Noteをお願いします。

出欠の受付等は別途のご案内になります。

※今後、野火止会メーリングリストとFacebookにて、パーティ関連のご案内をさせていただきますが、連絡のつかない方もおられます。ぜひ同期や前後の代に、今から60周年パーティ開催につき情報共有をお願いします。

志木会ゴルフ懇親会報告



2021年度の志木会ゴルフ懇親会が2021年9月14日（火）に桜ヶ丘カントリークラブで開催されました。平日開催且つコロナ禍最中にもかかわらず当日キャンセルが一名もなく、7期の大山隆義様から45期まで計93名の方にご参加いただきました。どうもありがとうございました。

雨天も予想されましたが、皆様の日頃の行いが報われたのか？なんとか天気は最後まで持ちこたえてくれました。

成績の方は、25期堀口孝利様がベスグロ（75）・ネット（70.2, HDCP4.8）両方でのダブル優勝！

おめでとうございます！

また、コース支配人の28期武井様には開催にあたり多大なるご協力を賜りました。

改めて幹事一同お礼を申し上げます。ありがとうございました。

諸般の事情を鑑みプレー終了後の表彰式はございませんでしたが、別途抑えていた部屋で各自打ち上げを楽しんでおられました。

来年こそはコロナも終息して皆様とお酒を酌み交わしながら表彰式を実施できることを期待しましょう。

皆様のご健康を心より祈念しております。

45期 星川太輔

志木会ポロシャツのお知らせ

2023年の志木高75周年を見据え、志木会ポロシャツを作りました。

数量に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

価格：¥7,000 - (税込)

サイズ：S、M、L、XL *ユニクロと同等のサイズです。

〈購入方法〉

志木会事務局へお申し込みください。

品代+送料(実費)が掛かります。

連絡先: 慶應志木会事務局 担当: 芹澤

MAIL: info@keio-shikikai.jp

TEL: 048-471-1959(直通)





第9回志木マスタースゴルフ2022(仮称) 開催ご案内



開催概要

■開催日時：2022年9月12日(月)

■開催場所：武蔵カントリー豊岡コース

<https://www.musashi-cc.co.jp>

〒358-0026 埼玉県入間市大字小谷田961

Tel:04-2962-4151(代) Fax:04-2963-5447



MUSASHI
COUNTRY CLUB

■募集人数：19組76名

■参加会費：約¥25,000 キャディ付、昼食付(1ドリンク付)含む

※コンペ会費**¥2,000**のみ受付デスクにてチェックイン時に徴収

※プレーフィー、パーティー代、追加ドリンク等は個人精算とさせていただきます。

※3バックの場合の差額はコンペ会費より事務局が負担

■競技方法：新ペリア方式 (同ネット順位 1.年齢 2.ハンディ)

スルーザグリーンノータッチ、グリーン上ワングリップOK

その他ローカルルールに従ってください。

★新型コロナの感染状況等により表彰、パーティーは行わず、メール等による
順位発表のみとさせていただきます。



★エントリー・お問合せは以下幹事までメールでお願いいたします★

天野 n_amano@choujyuan.co.jp

田内 hashima@viola.ocn.ne.jp

20期／45期&21期／46期 ホームカミングデーのお知らせ

日時 令和4年10月29日(土)、10月30日(日)

場所 慶應志木高校

会費 無料

※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、ホームカミングデーの招待中止や収穫祭の開催方法等に変更がある場合もございます。詳細が決まりましたら、メールマガジン・ホームページに掲載させていただきますので、そちらでご確認下さい。



収穫祭お知らせ

生徒会収穫祭実行委員会 委員長 三上慶君

皆さんこんにちは。第75回収穫祭実行委員長の三上慶です。

今年のテーマはコロナ前の文化祭を取り戻すという願いを込めて「REVIVAL」となりました。

感染状況によって変更の可能性はありますが、現在、我々収穫祭実行委員一同は一定の制限のもとではありますが、来場者を受け入れられる様に準備を進めています。最大限楽しめるように努めますので、収穫祭実行委員への応援をどうぞよろしくお願いします。

令和3年度 卒業40周年ご招待 中止のご報告

令和3年度の卒業式(令和4年3月24日)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生徒と教員および保護者1名のみで執り行われ、卒業40周年の皆様のご招待は中止となりました。

対象期であった30期&31期の皆様には、懐かしい校舎で友人との再会を楽しみにされていたと思いますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

令和 3 年度 慶應志木会 収支報告書

[令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日]

単位：円

収 入		支 出	
適 要	金 額	摘 要	金 額
前 期 繰 越 金	26,757,525	会 報 費	2,589,950
		会 議 費	94,900
維 持 会 費	10,000	交 際 費	40,460
新 入 会 費	7,290,000	通 信 費	137,298
物 販 収 入	347,950	事 務 費	1,566
雑 収 入	121	事 業 費	2,106,770
		パ ソ コ ン 関 連 費	34,000
		寄 付 金	900,000
		(収 穫 祭 ・ 卒 業 式 ・ 国 際 交 流 支 援)	
		卒 業 式	848,290
		(卒 業 生 記 念 品 ・ 志 木 会 賞)	
		75 周 年 準 備 対 策 費	645,307
		雑 費	10,565
		(支 払 手 数 料 等)	
収入小計	7,648,071	支出小計	7,409,106
		次 期 繰 越 金	26,996,490
合 計	34,405,596	合 計	34,405,596

預金残高明細（令和 3 年 3 月末現在）

銀 行	種 別	適 用	管 理	残高金額
ゆ う ち ょ	普通	新 入 会 費 口	上西	14,321,198
ゆ う ち ょ	振替	パ ー テ ィ 会 費 口	上西	0
三 井 住 友	普通	小 口	天野	1,812,583
ゆ う ち ょ	振替	維 持 会 費 口	芹澤	9,892,209
埼玉りそな	普通	小 口	芹澤	970,500
合 計				26,996,490

【監査報告】

慶應志木会会則第 18 条に基づき、令和3年度（令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日）の収支報告を監査した結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

令和 4 年 5 月 1 日

監 事 原 田 薫 (押印略)
監 事 増 山 治 一 郎

慶應志木会役員・幹事・クラブ幹事（令和4年6月現在）

■役員

名誉会長	高橋	美樹（校長）	
会長	坂上	隆彦（23期）	
副会長	上西	正之（23期）	財務・渉外担当
	大館	信（28期）	総務・企画・広報・情報管理担当
幹事長	宇野	宏（35期）	
会計監事	原田	薫（15期）	
	増山	治一郎（17期）	

■事務局幹事

田内	久晴（37期）	事務局長
金子	博志（20期）	情報管理担当
永井	利宗（27期）	企画・広報担当
青木	勝（33期）	総務担当
天野	徳雄（36期）	財務担当
甲斐	正英（40期）	財務担当
大久保佐太郎	（55期）	広報担当

■顧問

櫻井	英太郎（1期）	龍野	和久（1期）	本橋	重夫（15期）
五老	輝彦（9期）	品川	雅貴（12期）	西村	孝一（17期）
鹿野	元章（16期）	阪東	宗文（16期）		
松下	賢次（21期）	山崎	嘉正（26期）		

■幹事

期	卒業年	幹事							
1	S.26（1951）年卒	藤井 淳	松本 仙太郎						
2	S.27（1952）年卒	忽滑谷 岱司							
3	S.28（1953）年卒	菅野 光男							
4	S.29（1954）年卒	高橋 公郎	伊藤 金次郎	三浦 靖夫					
5	S.30（1955）年卒	寺嶋 延行	関山 清	木下 聰					
6	S.31（1956）年卒	真野 信裕	松本 福太郎	茂木 光義	梅澤 勉				
7	S.32（1957）年卒	熊崎 順次郎	鈴木 正治	渡辺 正					
8	S.33（1958）年卒	青木 宏至	品川 宗弘	大須賀 均	磯部 和宏				
9	S.34（1959）年卒	五老 輝彦	佐々木 弘暢	荒井 浩					
10	S.35（1960）年卒	馬場 紘二	齊藤 彰	細井 延昭	吉川 忠裕				
11	S.36（1961）年卒	馬淵 祥宏	森原 孝夫	菅谷 正樹	西 光由	渋谷 哲男			
12	S.37（1962）年卒	川久保 達也	岡田 幸次郎	原田 雄介	並木 美和				
13	S.38（1963）年卒	清水 武寿	椎野 開八郎	飯島 智					
14	S.39（1964）年卒	小林 好二	築山 正俊	三関 峻	佐久間 義雄	藤田 正壽			
15	S.40（1965）年卒	小笠原 準一	倉田 伸二	深瀬 啓司					
16	S.41（1966）年卒	緒方 信次	恩田 博司	近藤 隆夫					
17	S.42（1967）年卒	莊 敬典	北村 基樹	前嶋 晶廣	野村 真勝	中村 康二	川鍋 二郎		
18	S.43（1968）年卒	伊藤 博行	黒田 豊	徳永 良	間宮 勝	三村 信二	青沼 広海		
		大場 紹吉							
19	S.44（1969）年卒	中西 廣策	鈴木 基晴	齋藤 治雄					
20	S.45（1970）年卒	中 一弥	杉 雅俊						
21	S.46（1971）年卒	飯島 敏一	福地 敏之	折登 泰樹	小林 哲男	森 光太郎	内山 洋一		
22	S.47（1972）年卒	金子 康雄	櫻井 造雄	三木 哲郎	深澤 澄	江夏 雄二	増田 裕		
		城 克	深井 昭						
23	S.48（1973）年卒	夏目 雅	梅澤 由起	森田 榮一	三義 英一	太田 敏一	嶋田 廣雅		
24	S.49（1974）年卒	赤木 均	島影 幸有	田沼 潔	京本 修				
25	S.50（1975）年卒	小川 洋	高橋 宣行	島田 徹					
26	S.51（1976）年卒	山田 純男	船山 剛	小池 雅澄	善木 達明	澤田 尚史	中川 龍士		
		渡辺 規人	荻原 弘幸						
27	S.52（1977）年卒	鬼頭 真一郎	金森 悟	高橋 健三郎					
28	S.53（1978）年卒	伊能 重雄	池田 欽哉	南村 譲治					
29	S.54（1979）年卒	鳥羽 克治	清重 利昌	池上 忠嗣	相田 英文				
30	S.55（1980）年卒	岸田 一男	原田 仁敦	佐藤 正人	新 隆文				
31	S.56（1981）年卒	荻田 健之	福島 聡	布施 浩行	梶原 靖友	内匠屋 健			
32	S.57（1982）年卒	町野 素久	横江 資友	梅田 幸彦	鈴木 厚	伊勢 学			
33	S.58（1983）年卒	小玉 裕	河野 潔	本多 関雄					
34	S.59（1984）年卒	大内 正博	山下 孝	古長 玄一郎					
35	S.60（1985）年卒	須佐美 文忠	昌谷 健司	岩瀬 克也	永原 圭司	坂井 琢磨	萩原 太造		
		大澤 宏樹							

36	S.61 (1986) 年卒	阿部 元雅	澤田 克己					
37	S.62 (1987) 年卒	鍋島 康友	永田 博詳	植島 博之	原田 純一	木村 尚敬		
38	S.63 (1988) 年卒	知久 康成	中里 榮基	金子 隆則	荒瀬 光宏			
39	H. 1 (1989) 年卒	丸山 和紀	田中 浩樹	大西 重夫	鈴川 智徳			
40	H. 2 (1990) 年卒	井上 晴生	税所 篤史					
41	H. 3 (1991) 年卒	柏木 徹	三田 貴良	須田 光貴				
42	H. 4 (1992) 年卒	安 重煥	小島 圭	御山 義明	大澤 康算			
43	H. 5 (1993) 年卒	藪原 一暁	高松 智之	田口 鍊				
44	H. 6 (1994) 年卒	宮田 真詩						
45	H. 7 (1995) 年卒	若松 洋雄	小山 一	小川 圭				
46	H. 8 (1996) 年卒	谷口 剛	川崎 聡					
47	H. 9 (1997) 年卒	小寺 俊且 前北 馨	谷 嘉康	森 茂之	西本 祥仁	濱岡 勇介	小林 圭	
48	H.10 (1998) 年卒	亀山 雄高	黒川 真行	寺西 富広				
49	H.11 (1999) 年卒	石川 快	廣江 安彦					
50	H.12 (2000) 年卒	高岡 功	徳田 征之	小林 敬英	齋藤 収			
51	H.13 (2001) 年卒	石井 強太	森川 渉	浅岡 良彦	治田 和明			
52	H.14 (2002) 年卒	毛呂 淳一朗	渡邊 慶太郎					
53	H.15 (2003) 年卒	森岡 多門	林 憲					
54	H.16 (2004) 年卒	塚本 大夢	中川 雅之					
55	H.17 (2005) 年卒	池端 俊太	小泉 貴史					
56	H.18 (2006) 年卒	大久保 匠馬	若林 隆晃	横澤 慶太	原口 惇			
57	H.19 (2007) 年卒	和田 亮	時田 亜希夫					
58	H.20 (2008) 年卒	宮山 明	佐藤 友紀					
59	H.21 (2009) 年卒	箱崎 勇人	本多 清礼					
60	H.22 (2010) 年卒	岡田 哲哉	中込 健太	工藤 雄太	松井 洋	古川 創一		
61	H.23 (2011) 年卒	井上 裕紀	富澤 直嗣	今野 秀一				
62	H.24 (2012) 年卒	荒木 謙人	岡本 尚之	加藤 将平	椎名 翔平	武藏 泰		
63	H.25 (2013) 年卒	星野 真瑠也	星野 宏太					
64	H.26 (2014) 年卒	市川 広大	巽 祐一	池上 太悟	亀倉 玲	森 大和	内村 朝樹	
65	H.27 (2015) 年卒	秋田 雅信	友野 雅樹					
66	H.28 (2016) 年卒	小林 翔	恩田 真希					
67	H.29 (2017) 年卒	菱刈 太一	本間 健太郎	大森 脩平	堀内 悠生	今野 裕三		
68	H.30 (2018) 年卒	松田 高幸	齋藤 正人					
69	H.31 (2019) 年卒	中山 元貴	堀永 尚					
70	R.2 (2020) 年卒	長合 哲弥	關山 輝流	今野 真孝				
71	R.3 (2021) 年卒	遠藤 界	脇田 克志					
72	R.4 (2022) 年卒	千葉 達博	桑名 郁弥					

■クラブ幹事

枇 杷 の 会	深瀬 啓司 (15 期)	ホ ッ ケ ー 部	菅野 芳哉 (29 期)	ス キ ー 部	渡辺 一仁 (51 期)
硬 式 庭 球 部	田中 真介 (17 期)	弓 術 部	小宮 雄造 (30 期)	鉄 道 研 究 会	滝上 紘之 (52 期)
硬 式 野 球 部	小川 光二 (17 期)	軟 式 テ ニ ス 部	枇々木 規雄 (34 期)	ワ グ ネ ル	南 琳太 (61 期)
應 援 指 導 部	渡辺 伸一 (17 期)	バ ス ケ ッ ト 部	木村 尚敬 (37 期)	ワ グ ネ ル	山浦 元気 (61 期)
卓 球 部	浅生 潤 (23 期)	バ ス ケ ッ ト 部	平賀 敦巳 (41 期)		
バ レ ー 部	進藤 英典 (23 期)	サ ッ カ ー 部	中村 直人 (38 期)		

【幹事の訃報】

藤岡 民良君 (4 期) 多田 毅君 (7 期) 謹んでご冥福をお祈りいたします

編 輯 後 記

まだまだコロナ禍の影響を受けて会員諸兄の活動は全開とはいかないようで寄稿数はさみしいものでしたが、志木高開設 75 周年事業についてしっかりとご報告ができました。募金目標にはまだまだ程遠い状況でございますゆえ、なにとぞコツコツとご協力をお願い申し上げます。(27 期永井)

慶應志木会会報 2022.vol.42

編輯・発行 慶應志木会
 (慶應義塾志木高等学校同窓会)
 〒353-0004
 埼玉県志木市本町4-14-1
 TEL: 048-471-1959 (志木高内)
 発 行 人 坂上 隆彦
 発 行 日 令和4年6月25日
 印 刷 (株)アレックス
 ウェブサイト <https://www.keio-shikikai.com/>
 電子メール info@keio-shikikai.jp

2023年度第8回志木会大会について

終息が見えにくい昨今のコロナ禍、執行部にて志木会大会のあり方を再考してみました。

具体的なコンテンツについてはまだ検討中ですが、開催についての考え方、コンテンツ案をご報告させていただきます。

コンセプト

- ・ 志木高らしい質実剛健な大会を目指します。
- ・ 参加費および開催経費を抑え参加しやすい大会を目指し動員数を増やします。

今までの大会との違い

- ・ 総会部分（名誉会長、会長、来賓挨拶、新会長の承認、75周年事業報告等）に加え、講演会、パネルディスカッション等を行います。その間はノンアルコールを検討。
- ・ 大会は同期、仲間の集う場所とし軽飲食（アルコールと乾きもの程度）とし、本格的な飲食は2次会にて同期やクラブの仲間で行っていただきます。
- ・ そのほか、ホワイエを利用した記念写真ブース等の設置を企画中。

2023年11月18日(土)午後開催を予定(90分程度)

恵比寿ガーデンホール

<https://gardenplace.jp/culture/hall.php>

